

企画会議

「わたし×新博物館」

本日はワークショップにご参加いただき、誠にありがとうございます。

お名前／ニックネームを席札にお書きいただき、開始までお待ちください。

グループの皆さんに
呼ばれたい
お名前／ニックネーム

お名前 または
ニックネーム



企画会議

「わたし×新博物館」

加曽利貝塚新博物館整備ワークショップ

2022年10月1日(土)

A photograph of a dense forest with tall, slender trees and a thick canopy of bright green leaves. Sunlight filters through the branches, creating a dappled light effect on the forest floor. The ground is covered in moss and fallen leaves. A semi-transparent white rectangular box is overlaid in the center of the image, containing the text "1. はじめに".

1. はじめに

本日のワークショップの目的

市では、平成29年10月の加曽利貝塚の特別史跡指定を契機に、その価値を確実に未来へ守り伝えていくことはもとより、多くの人々が史跡に親しみ、保存活用を推進するため、史跡の再整備や加曽利貝塚の全体像の解明に向けた新たな発掘調査をスタートしました。

また、特別史跡にふさわしい魅力ある場とするため、史跡内を縄文時代の景観に復元することを目指し、千葉市立加曽利貝塚博物館を史跡外へ移転することとし、新たな博物館を整備する方針を示しました。

こうした現状を踏まえ、本日皆様からいただいたご意見は、新博物館整備・運営事業者の募集に当たって参考にさせていただきます。また、今後も開館に向けて市民ワークショップや体験プログラム開発等を進めて参ります。

令和4年10月

企画会議
「わたし×新博物館」

令和6年度中～

開館に向けた、
市民ワークショップ、
体験プログラム開発等

令和10年度中

新博物館
竣工・開館

本日のスケジュール

時間	アクション	説明
14:00～ 8分	1. はじめに	開催のあいさつ、本日の進め方
14:08～ 10分	2. アイスブレイク	テーマ設定の背景、ディスカッションの進め方や時間配分の説明
14:18～ 20分	3. 講演「私の考える新しい博物館」	高橋龍三郎氏 (早稲田大学文学学術院教授)
14:38～ 5分	4. ワークショップセッション①	ワークショップ概要、進め方、事前情報の共有
14:43～ 20分	グループワーク	「新博物館で、利用者としてどのような楽しみ方・過ごし方がしたいか」
15:03～ 10分	アイデアの共有	班ごとの議論内容を全体に共有
15:13～ 2分	①のまとめ	セッション①の総括
15:15～ 5分	休憩	休憩
15:20～ 5分	5. ワークショップセッション②	進め方、事前情報の共有
15:25～ 20分	グループワーク	「①を実現するために、新博物館の運営者にどのような取組を期待するか」
14:45～ 10分	アイデアの共有	班ごとの議論内容を全体に共有
15:55～ 2分	6. まとめ	ワークショップ全体のまとめ・講評
15:57～ 3分	7. おわりに	総括、閉会のあいさつ

2. アイスブレイク



アイスブレイクとは

- 「氷」＋「打ち砕く」＝雑談をすることでお互いの緊張をときほぐすことです。
- 気軽に発言しやすい環境を作り、グループの一体感を醸成しましょう。

気軽に発言しやすいオープンな対話ができる環境



アイスブレイク～自己紹介～

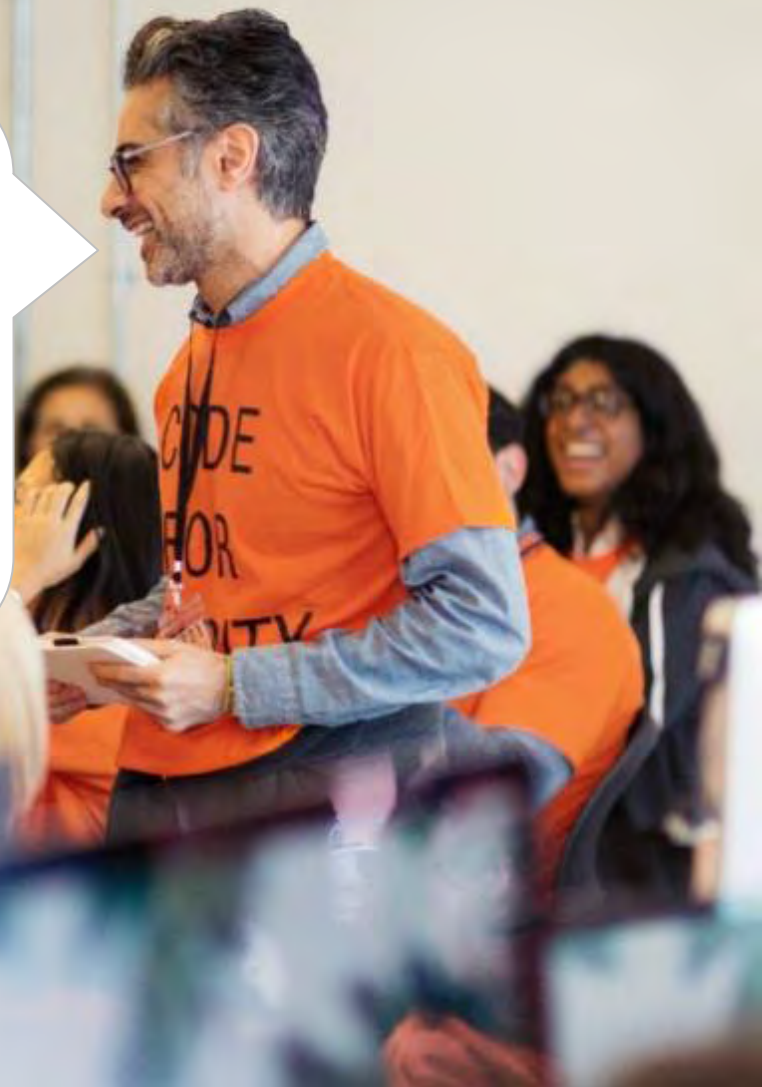
- ・ グループごとに自己紹介をしましょう。

テーマ：

- ① お名前（ニックネーム）
- ② ご職業・ご趣味など、ひと言
- ③ 休日・余暇でよく利用する施設・過ごし方

目標：

1人1分程度





3. 「私の考える新しい博物館」

高橋龍三郎氏
（早稲田大学文学学術院教授）

4. ワークショップ

テーマ①

新博物館で、利用者としてどのような楽しみ方・過ごし方がしたいか

テーマ②

①を実現するために、新博物館の運営者にどのような取組を期待するか

テーマ設定の背景

- 新博物館・特別史跡等における活動ニーズ、施設運営に期待する事項の共有を目的とする。
- テーマ①は施設利用者から見た楽しみ方や過ごし方、新博物館で取り組みたいこと
- テーマ②は上記を実現する上で、期待される施設運営のあり方・運営事業者に期待する取組を検討する。
- 整備・運営事業において事業者が配慮すべき事項として、可能な限り反映する。

テーマ①

新博物館で、利用者として
どのような楽しみ方・過ごし方がし
たいか

テーマ②

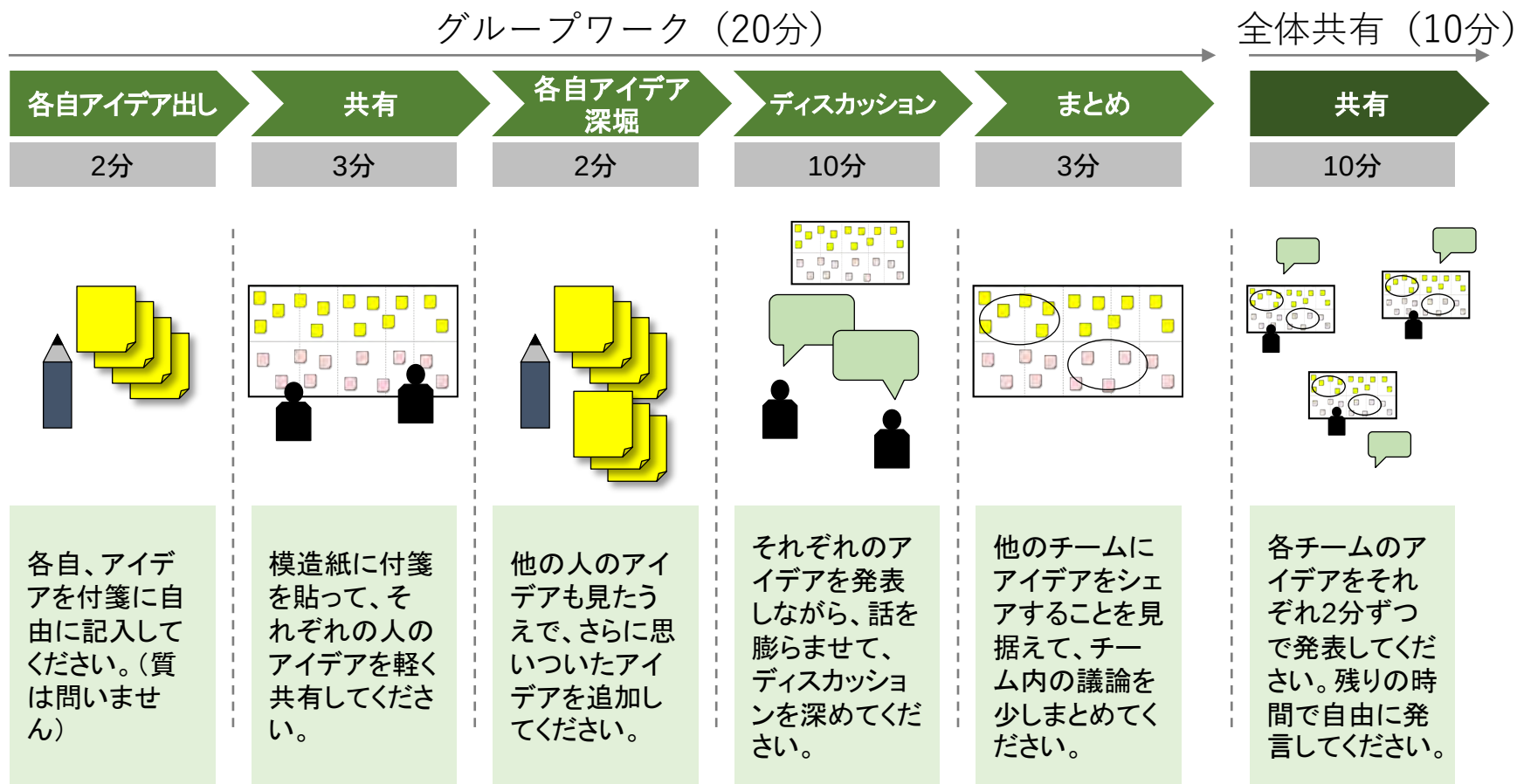
①を実現するために、新博物館
の運営者にどのような取組を期
待するか



整備・運営事業者が
配慮すべき事項として反映

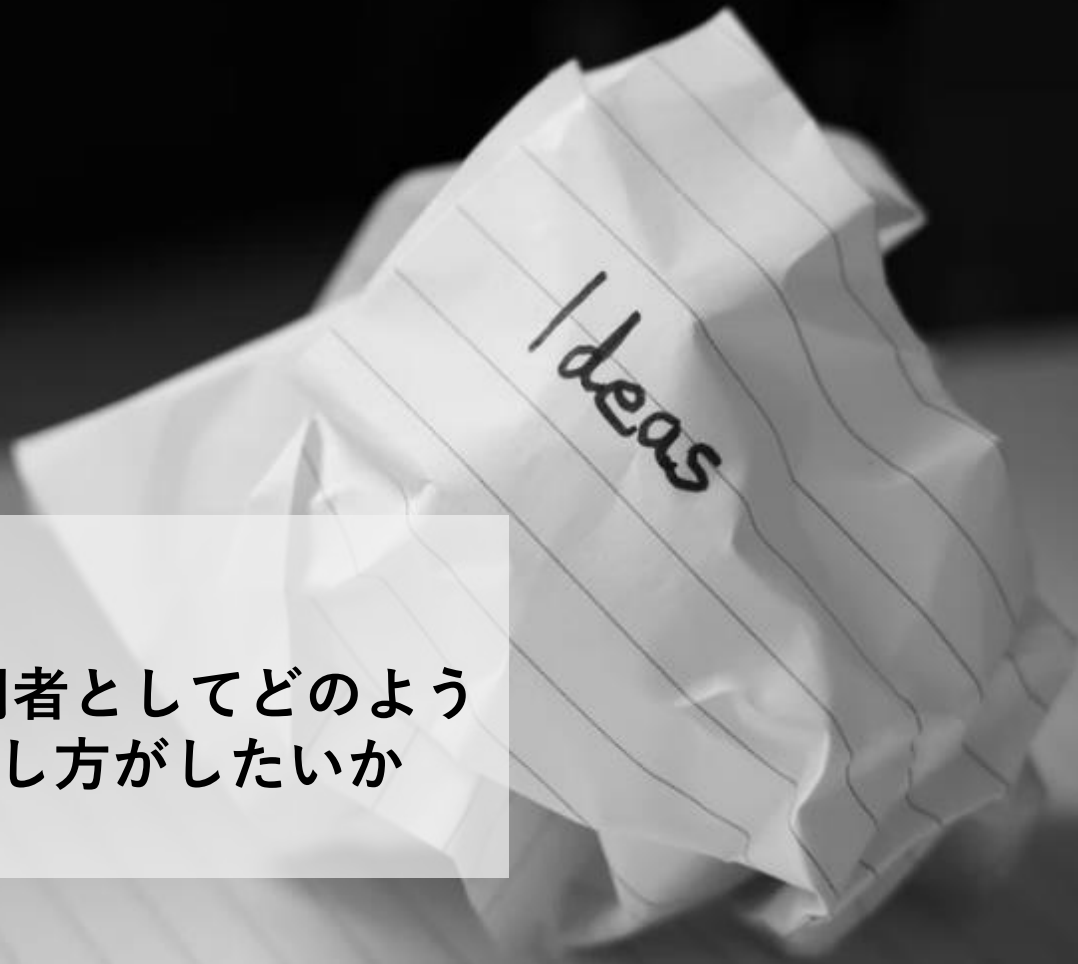
グループワークの進め方

- グループワークの進め方について、以下に示すものは一例です。
- 各班のファシリテーターを中心に、時間配分や進め方は各班のやり方を尊重します。



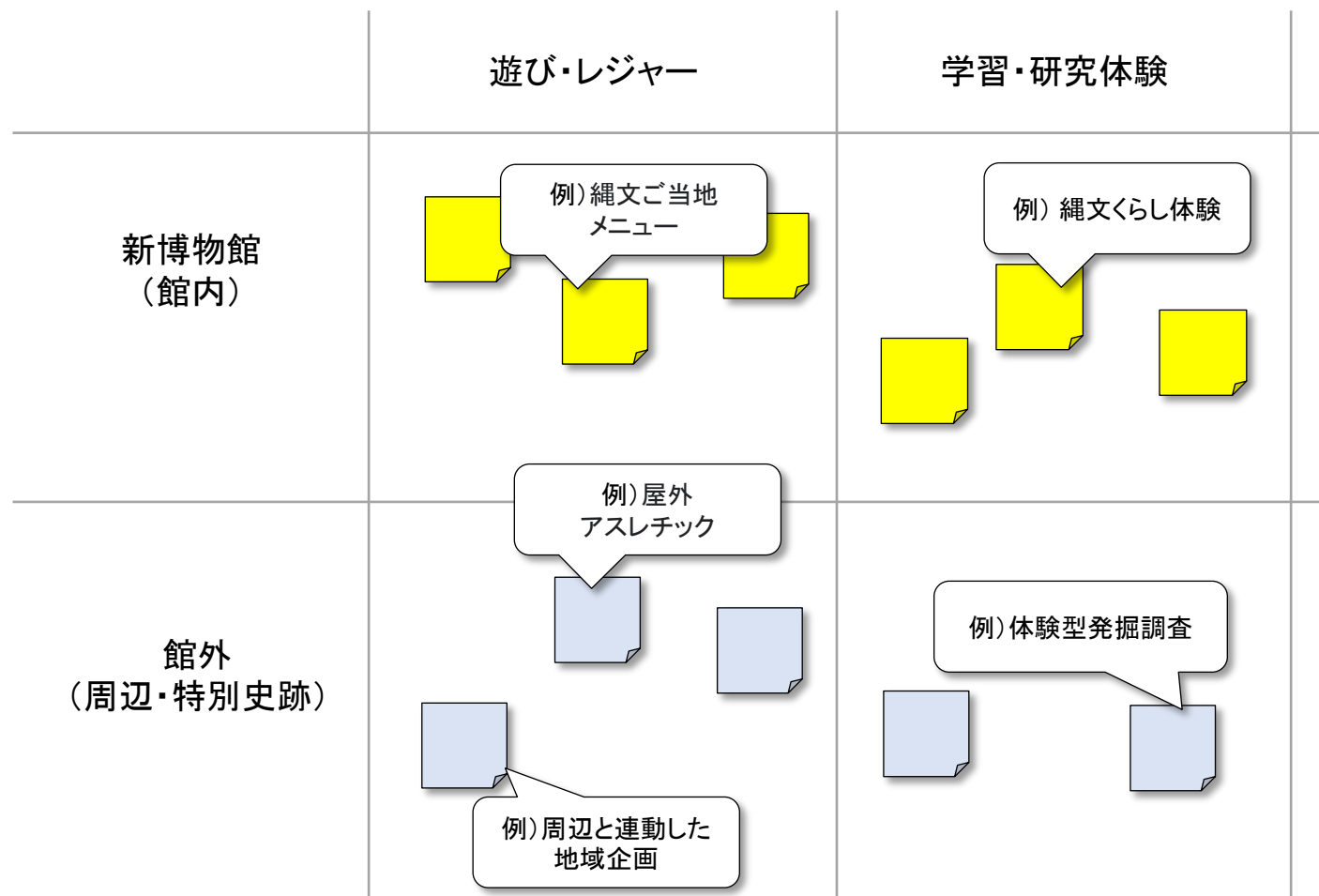
4. ワークショップセッション①

テーマ①：
新博物館で、利用者としてどのような楽しみ方・過ごし方がしたいか



テーマ①におけるフレーム

新博物館で、利用者としてどのような楽しみ方・過ごし方がしたいか



事前情報の共有：現博物館における活動の例



火起こし体験



アクセサリ作り



発掘作業の様子



縄文服の試着体験

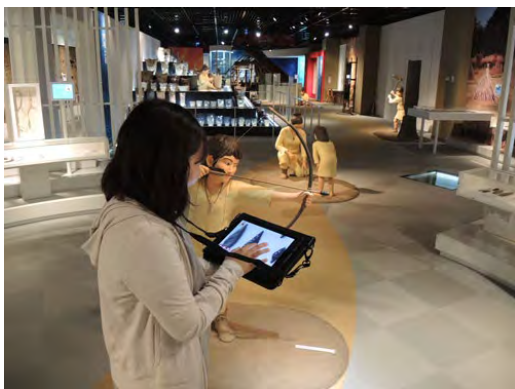


復元住居の解説



発掘作業の様子

事前情報の共有：他館における活動の例



三内丸山遺跡 出土品VR



三内丸山遺跡 出土品VR



登呂遺跡 土器炊飯



登呂遺跡 貫頭衣体験



国立科学博物館 youtube



東京国立博物館 鑑賞ガイド

事前情報の共有：新博物館の空間イメージ



探求型展示「加曽利ラボ」



対話型展示「未来ラウンジ」



没入型展示「縄文体験空間」（昼）

出典：特別史跡加曽利貝塚新博物館基本計画

事前情報の共有： 史跡内マップ

加曽利貝塚は15ヘクタールの敷地に、南北340mの8の字の形をした大型貝塚、貝層断面観覧施設、博物館、復元された縄文集落などが点在

出典：加曽利博物館HP



事前情報の共有：現博物館展示風景



館内展示



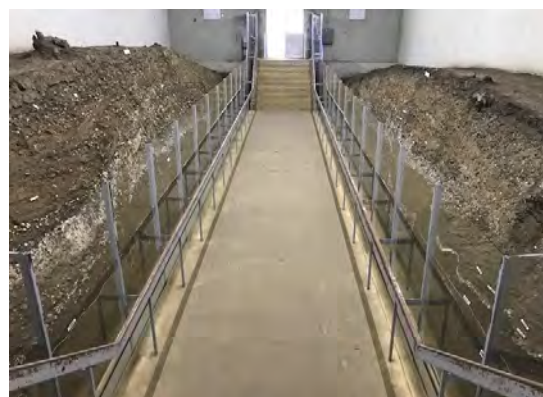
北貝塚 住居跡群観覧施設



南貝塚 貝層断面観覧施設



館内展示



北貝塚 貝層断面観覧施設



復元集落 内部

出典：加曽利博物館HP

グループワークのお約束

**否定
はしない**

質 < 量

**人の意見
に便乗OK**

**自由奔放な
意見あり**

**とにかく
楽しみ
ましょう**

アイデアの 共有

各班発表2分



【5分間の休憩】



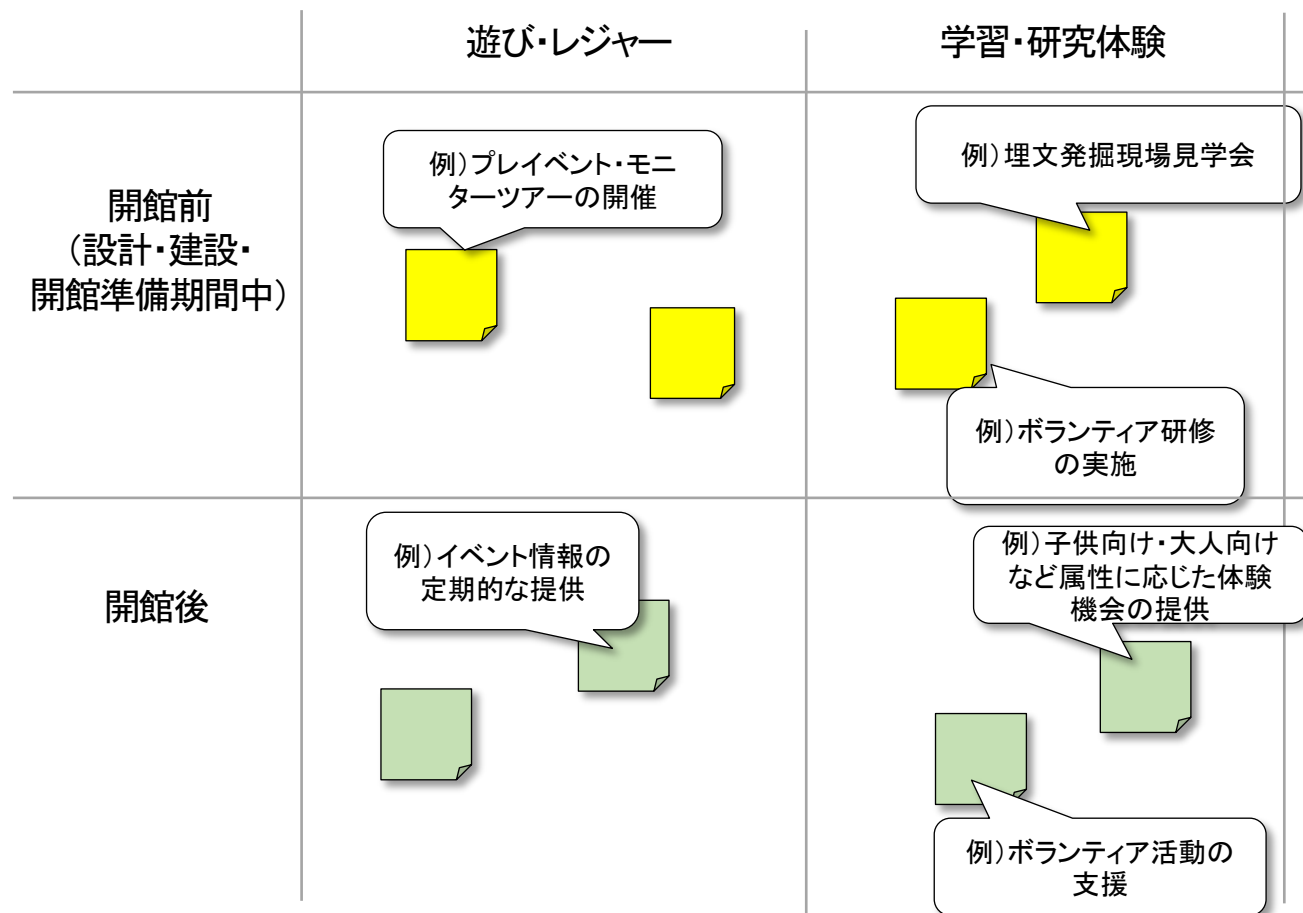
5. ワークショップセッション②

テーマ②：

①を実現するために、新博物館の運営者にどのような取組を期待するか

テーマ②におけるフレーム

①を実現するために、新博物館の運営者にどのような取組を期待するか



事前情報の共有：みんなでつくる・育てる博物館

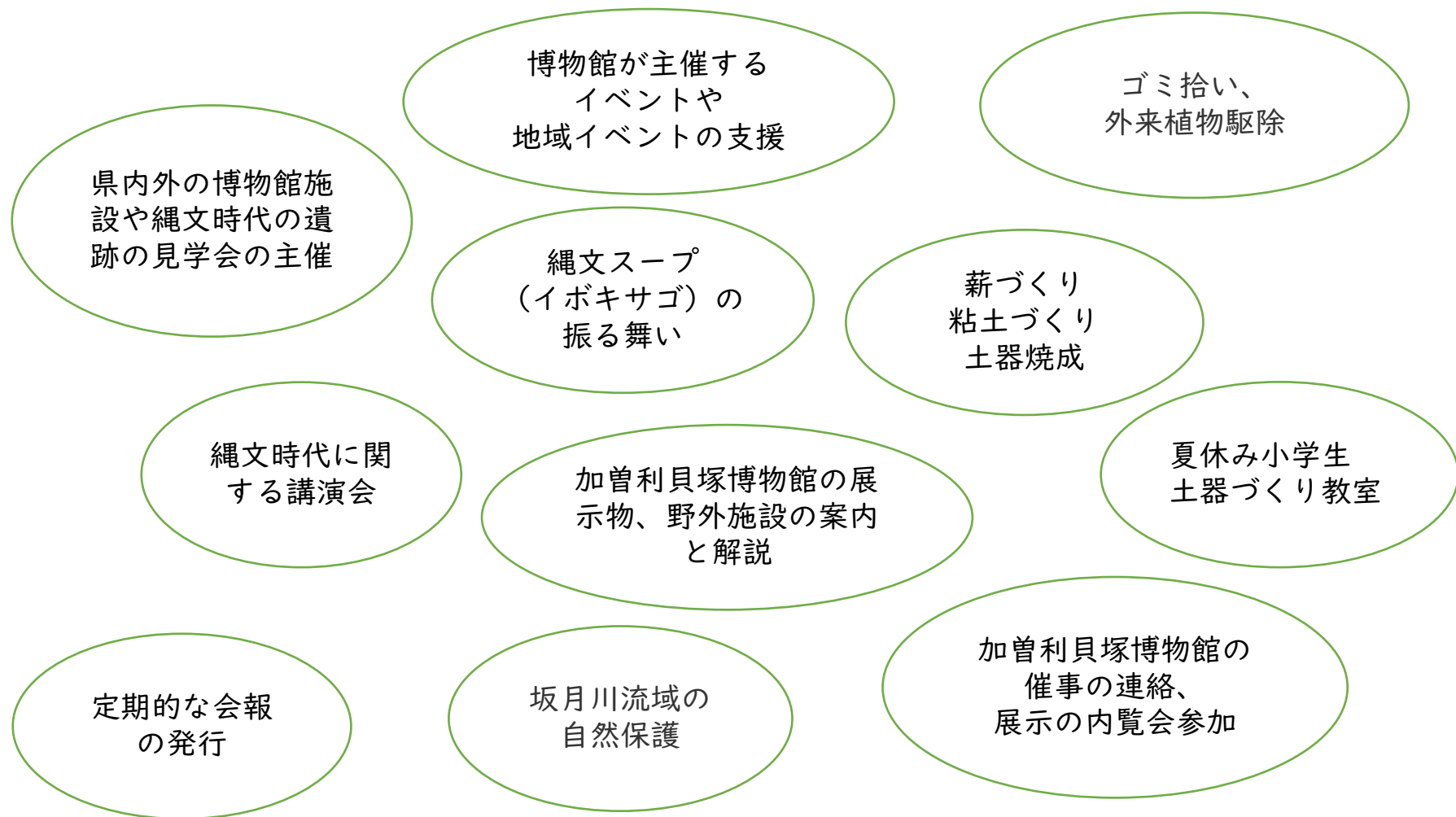
4 「みんなでつくる・育てる博物館」に向けた考え方

- ・新博物館の整備にあたっては、計画段階から市民の参画を促進し、大学などの外部研究機関の協力により、多様な主体が活動しやすい施設づくりについて、みんなで検討します。
- ・開館後の運営に向け、複数の主体が関わる運営の仕組みづくり、連携・ネットワーク強化に向けて、博物館サポーター（担い手）、大学などの外部研究機関、学校連携、地域連携、などについて最適なあり方を検討します。



出典：基本計画の管理運営計画

事前情報の共有：既存団体による活動の例



グループワークのお約束

**否定
はしない**

質 < 量

**人の意見
に便乗OK**

**自由奔放な
意見あり**

**とにかく
楽しみ
ましょう**

アイデアの 共有

各班発表2分



6. まとめ



7. おわりに





アンケートにご協力ください

※紙での回答ご希望の方は
× × 配布いたします。